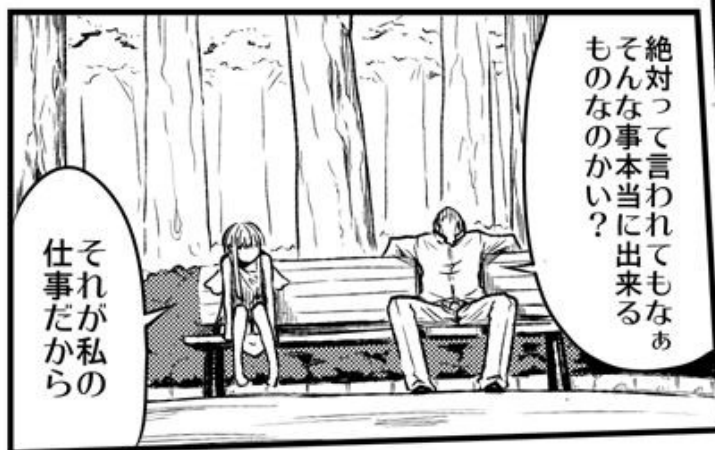


天使のお仕事



ももいぬ





絶対って言われてもなあ
そんな事本当に出来る
ものなのかい？

それが私の
仕事だから



つまり君は
天からの使いで
ずっと天に召さない俺の
手助けにやってきた...と

手助けというよりは
私が来たからには絶対に
天界に送らないとダメなのよ



それじゃ
早速はじめ
ましようか

早速って

よ

ほす



俺がどんな理由で
ここに残ってるのか
知ってるの？

何のために私みたい
なのが出来たと思ってるの
そんな事知ってるに
決まってるでしょ

め

キ

す





触れる!?



天使の私になら霊体の
あなたにも触れる事が
出来るってことよ



ほらっ：
触ってみなさい



それ：
本当なの？

あのねえ：
あなたに私が
嘘ついて何か
あるの？



本当だ！
どうしよう！
俺今本当に
少女触った！！

あなたねえ
ちよっと驚き
すぎじゃない？



だってもう
こんな事一生
いや！死んでるけど
無いって
諦めてたし！

そ…
そうなの



あんたさ！
本番の前に

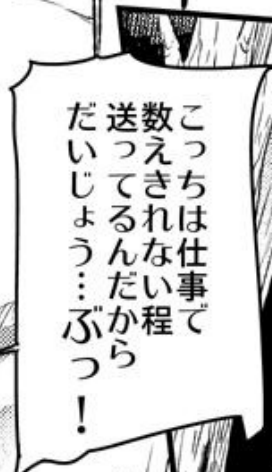


一回してあげようか？













ついでに言うても
一瞬だろうけど

くちゅ...

さあ早く
イツてちょうだい!

今まで培ってきた
このピストンに
耐えられる奴は
いなかったわ!

な

なっ何っコレ
いきなり!?!
はやっすぎ!

お

ッ

ッ

ッ

ッ







なんで光
らないのよ



なんであんた
天国に行かないの
て聞いてるのよ!
したかつたんでし
少女とセックス!

さあ...たぶん
なんかよく
わからな
いからま
ま
終わらない
かな

何よそれ!
じゃあさっきの
一回は無駄だつた
ってこと!?

無駄って...さっきのは
さっきので凄く気持ち
良かったし



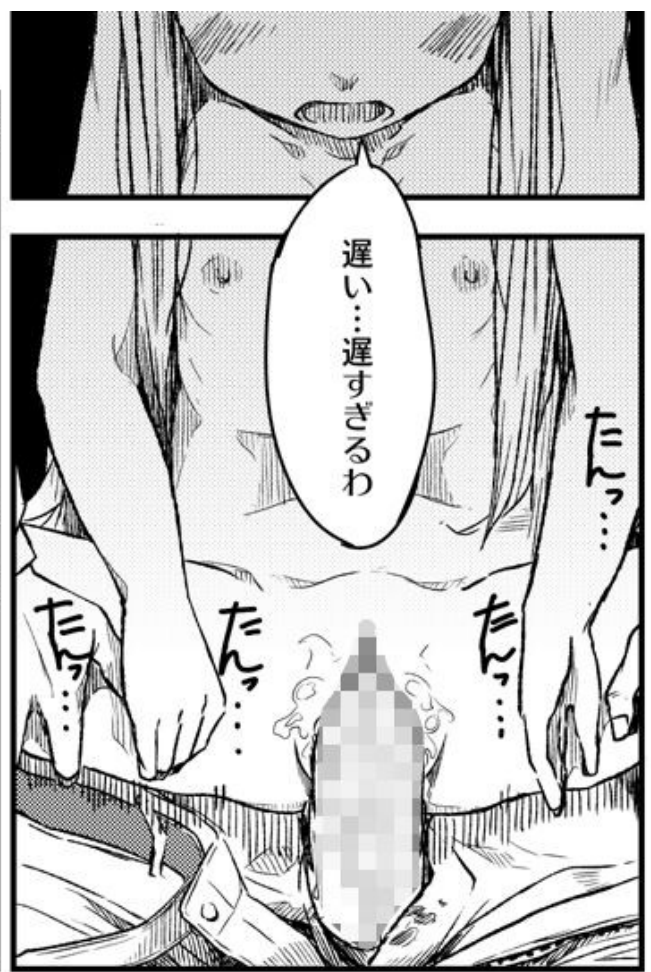
そーゆー問題じゃないの!
あんたは気持ちいいかも
しれないけれど私は
仕事でやってんだから!

やっ

ほら!
さっさと
動きなさい

で...でも
今射精した
ばかりだし

文句
言わないの











ちよつと調査が
行き届いてなかつたって…
現場の身にもなつて欲しいわ



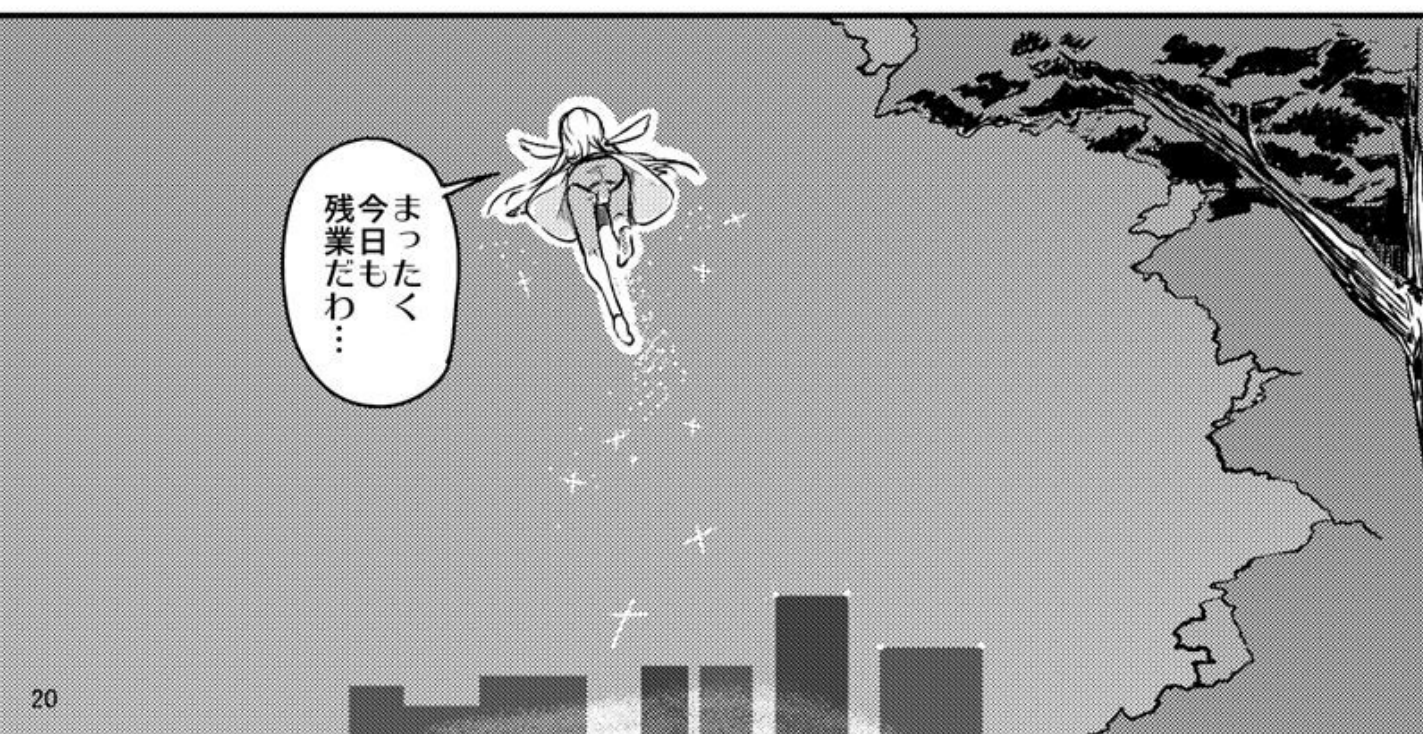
今の相手事前の
情報と少し違つた
んだけれど
どういう事なの？

すの



おかげでこんな
時間になつた
じゃない…

それで
次の相手は？



まったく
今日も
残業だわ…